

## 島根原子力発電所 活断層の連動の可能性検討の概要について

### 1. 検討の概要

島根原子力発電所の耐震設計上考慮する主要な活断層について、地形および地質構造の形成過程（テクトニクス）等を考慮して、連動の可能性について検討した。

### 2. 検討結果の概要

- ⑤ F-Ⅳ断層と⑦ F<sub>K</sub>-2断層については、走向・ずれの方向が同じであり、断層間の距離が近い（約 2.5 km）ことから、仮に連動するものとして既に評価している。
- ④ F-Ⅲ断層と⑤ F-Ⅳ断層については、走向が同一直線上になく、また両断層間に断層は認められず、さらに重力異常の連続性が認められない。
- ① 宍道断層については、断層の西方、東方ともに連動を考慮する必要がある断層はないものと評価している。
- その他の活断層については、仮に周辺の断層との連動を考慮しても、敷地に与える影響は宍道断層の影響を上回らないと判断されることから、耐震安全性評価に影響しない。

【耐震設計上考慮する主要な活断層分布図】

